

Ichinomiya Map

Design

一宮に関わるデザイナーや建築家が見つけたまちなかのデザイン。さまざまな物語や役割を持った造形を通して、まちを再発見してみて。



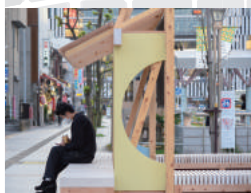
案内看板の側面

身長を尺で測ることができる身長測定器。



オリハス一宮

大正13年(1924年)に建てられた銀行の建物を、多目的ホールとして利用している。元の設計は夏目漱石の相婿である建築家の鈴木禎次(ていじ)。



路上建築群

アンビエントデザインズが設計した社会実験のストリートファニチャー。真清田神社周辺の小屋、銀座通り上の変圧器、地下駐車場出入口といったまちに存在する物のスケールやカラーと連続的につくられている。



植栽帯の鉄パイプ

七夕祭りの際に、飾りの支柱を挿すためのしかけ。



○ 本町アーケードのエントランスの書体



外壁に書かれた書体
ウ
バ
車

2014年の改正道路交通法の施行に基づく
ラウンドアバウトでは「ゆずれ」の路面標示が用いられる

ゆ
ず
れ



真清田神社
駅から徒歩約8分



堀の付属店舗 (パーラユーモア)

真清田神社の堀には元倉庫の小屋が一体化している。その小屋を転用した飲食とアパレルのお店。ここ以外にも軒が低く親しみのあるスケールの商店が軒を連ねている。



商店の3枚扉

垂直方向に3等分された扉。上部2/3は降りたたまり部戸のように格納され、下部1/3は開き戸として横に開き、お隣の仕切りとなる。



アーケード柱のリング

イベント時にロープを張り、鯉のぼりなどを垂らすためのしかけ。

お店の屋号

市場で競りをする時に、商店名を短く呼べるように省略した呼び名が用いられた。そこから屋号が生まれ、その文化が様々な商店へと伝わっていった。屋号が残るお店は歴史があるお店であることが多い。

カネスエ
未

アーケードのはしご

消防法によって定められたアーケードを越えるための梯子。差し色のようなイエローが愛らしい。



Re-TAIL(リテイル)

昭和8年(1933年)に建てられたビル。ファッションなど創造的なテナントを集める。旧・尾西織維協会ビル、尾西織物同業組合事務所として清水組(現・清水建設)が設計施工した。